

平成25年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「クルックト・リバー職業訓練センター改修計画」引渡式

2017年8月11日、中野大使は、クラレンドン県のクルックト・リバーにて行われた、平成25年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「クルックト・リバー職業訓練センター改修計画」の引渡式に出席し、新しい職業訓練施設を当国NGO職業訓練団体ハート財団職業訓練局に引き渡しました。

クルックト・リバーの所在する北クラレンドン地域には、特別な産業や職業技術を学べる訓練施設が存在しておらず、働く術が無いために非行に走る若者達による治安悪化、貧困家庭の増加が問題視されていました。

当プロジェクトでは、上記問題を解決するために建設が開始されるも、資金繰り悪化により施工が頓挫してしまっていたクルックト・リバー職業訓練センターを完成させ、理美容・養蜂・バーサービスの資格を得ることができる職業訓練校として、地域住民の雇用促進に役立てられることを目的としています。

当日の引渡式へは、ドノヴァン・スタンベリー産業・通商・農業・漁業省次官（サムーダ同大臣代理）、オリーブ・ガードナー・バイグレイブ教育・青年・情報省教育担当官（リード同大臣代理）、ホレース・ダリー下院議員（地元選出）、ステファノ・シリEU代表部書記官、ハート財団職業訓練局の関係者を含む約70名が参列しました。

スタンベリー次官をはじめとする来賓は、式典でのスピーチで日本の支援に対し感謝の意を表するとともに、当職業訓練センターに研修機材を供与したEUとの協働の成功を祝いました。

中野大使は、まず本件プロジェクトをEUおよびハート財団とのパートナーシップで完成させることができた喜びを述べました。また、人間の安全保障の観点から、教育が非常に重要な役割を担っており、教育および職業訓練の分野において、意欲の高い若者たちを継続的に支援し続けていくことへの協力を惜しまないと述べました。



（左）クルックトリバー職業訓練センターの生徒、ダリー下院議員、シリEU代表部書記官と記念撮影

（右）左より、ウェイネ・バティースト・ハート財団職業訓練局マネージャー、エリザベル・テリー・ハート財団職業訓練局上級局長代行、ダリー下院議員、シリ書記官、中野大使、ジェニファー・ウォーカー・ハート財団職業訓練局事務局長代行



（左）スタンベリー産業・通商・農業・漁業省次官によるスピーチ

（右）オリーブ・ガードナー・バイグレイブ教育・青年・情報省教育担当官によるスピーチ



（左）ダリー下院議員によるスピーチ

（右）中野大使によるスピーチ



(左) 理容科訓練生によるデモンストレーションを受ける中野大使
(右) クルックト・リバー小中学校の生徒による伝統的な踊り披露